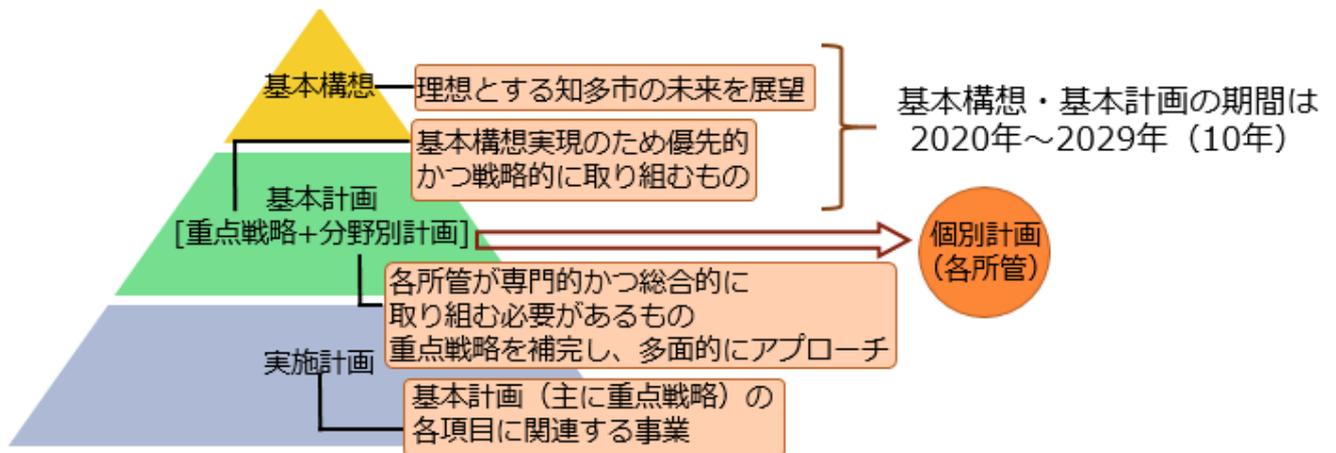


重点戦略骨子（案）

（参考）計画の構成



（１）ひとづくり

まちづくりの主演は“ひと”、未来を担うのは子どもたちです。子どもの育ちを地域全体で支えるとともに、子どもを健やかに育てられる環境を整え、子育て世帯に選ばれるまちを目指します。

理想とする未来の姿を共有し、一人ひとりがまちづくりの担い手であるという当事者意識を醸成します。多くの市民が、持てる力を出し合い活躍できるように、市民活動・地域活動などあらゆる分野でのチャレンジを応援します。

- ① 子育てしやすい地域づくり
- ② 次代の担い手を育む教育環境の整備
- ③ 市民協働によるまちづくり
- ④ 交流と活動の場づくり
- ⑤ 多様性を認め合うまちづくり

(2) あんしんづくり

人と人がつながり、地域で支え合うことにより、暮らしの安心感を高めます。高齢者、障がいのある人など、配慮が必要な人が必要な支援を受けられる体制を確保するとともに、暮らしを支える移動手段の確保、災害への充実した備えなどにより、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

心身ともに健康で安心して暮らせるように、ライフステージやそれぞれの人に適した健康づくり、スポーツに取り組むことができる環境や機会の充実を図ります。

- ① 互いに支え合う地域づくり
- ② 一人ひとりが適切な支援を受けられる体制づくり
- ③ 公共交通ネットワークの形成
- ④ 災害に強く、安全に暮らせるまちづくり
- ⑤ 生涯を通じた健康づくり

(3) にぎわいづくり

人が集い、交流する場をつくることによって、活力とにぎわいあふれるまちづくりを進めます。

地域経済の活性化によるにぎわいを創出するため、企業誘致や商工業の支援、観光振興などを進めます。また、暮らし方、働き方が多様化する中で、それぞれの希望に応じて、いきいきと働くことができる場をつくり、新たなビジネスなどのチャレンジを支援します。

- ① にぎわいの拠点づくり
- ② 新たなしごとの場づくり
- ③ 働きやすい環境づくり
- ④ 新たなチャレンジの創出
- ⑤ 魅力資源を活かした観光振興